

2026年度

愛知県

**「次世代モビリティ活用
実証支援事業」**

**e-Paletteを活用した実証実験
実施企業 募集要領**

主催：愛知県

運営：**STATION Ai** 株式会社
(**X Innovation**事業部 **OI**推進課)

問い合わせ：ext-oi-development@stationai.co.jp

目次

- [1. まずご確認ください:応募前チェック](#)
 - [2. 募集概要](#)
 - [3. 事業の目的・募集テーマ](#)
 - [4. e-Paletteの特徴と活用条件](#)
 - [4-1. e-Paletteの仕様・制約\(提案検討時の前提\)](#)
 - [4-1-1. 車両主要スペック\(提案検討時の目安\)](#)
 - [4-1-2. 実証設計上の制約・応募時の確認ポイント](#)
 - [5. 応募資格・条件](#)
 - [6. 支援内容](#)
 - [7. 応募資料の作成方法](#)
 - [7-1. 応募資料に必ず含める項目](#)
 - [8. 審査方法・審査観点](#)
 - [8-1. 審査プロセス](#)
 - [8-2. 審査観点\(参考\)](#)
 - [9. 全体スケジュール](#)
 - [10. 採択後の進め方](#)
 - [11. 注意事項](#)
 - [12. FAQ](#)
 - [13. 応募方法・問い合わせ](#)
- [別紙:応募資料セルフチェックシート](#)

1. まずご確認ください: 応募前チェック

本事業で重視すること

本事業は、応募企業の技術・サービス・事業仮説を起点に、e-Paletteを活用しながら実証可能性、事業化・社会実装への道筋を検証するプログラムです。

- e-Paletteを使うことで、通常の施設・車両・オンライン提供より検証価値が高まる理由を説明できる。
- 誰の、どの課題を解決する実証かが明確である。
- 実証で検証したい仮説・KPI・期待する効果を説明できる。
- 自社が持つ技術・サービス・データ・顧客接点など、活用するアセットが明確である。
- 実証期間中に実施可能な範囲、体制、概算費用、スケジュールを提示できる。
- 車両への架装、電源利用、走行中の稼働、人の乗降、安全面など、確認が必要な条件を応募資料に記載できる。
- 採択後、事業実施計画書の策定、月1回以上のメンタリング、プロジェクト進捗管理・予算管理、成果報告に対応できる。
- 非会員企業の場合、契約締結までの入会を前提として、応募締切までに会員申込を完了できる。

上記点に該当するような企業への実証支援を想定しております。詳細は以下をご確認のうえ、応募フォームよりお申し込みください。

2. 募集概要

項目	内容
事業名	2026年度 次世代モビリティ活用 実証支援事業
募集内容	e-Paletteを活用したサービス・技術の実証アイデアや事業仮説
対象	・STATION Ai会員企業(スタートアップ・事業会社)・e-Paletteを活用したサービス・技術の検証を希望する企業
採択社数	3社
支援内容	各社と実証実験委託契約を締結し、上限400万円/社(税抜)の範囲で実証を支援
伴走支援	事業実施計画書の策定、月1回以上のメンタリング、プロジェクト進捗管理、予算管理、成果報告会での発信など
募集期間	2026年6月15日(月)～2026年7月6日(月)
応募方法	指定の応募フォームより、必要事項および応募資料(PPT必須)を提出
問い合わせ	STATION Ai X Innovation事業部 OI推進課 ext-oi-development@stationai.co.jp

3. 事業の目的・募集テーマ

愛知県は、本県の基幹産業であるモビリティ分野におけるイノベーション創出を加速するため、e-Paletteを活用した実証実験に取り組む企業を募集します。

今年度は、募集段階から実証実験の全体像、e-Paletteの活用条件、審査観点、採択後の進め方を明確にしたうえで、採択後のPoCを前提とした事業仮説を募集します。

募集テーマ

e-Paletteを舞台に、自社の技術・サービス・事業仮説を検証し、次世代モビリティ領域における実用的なユースケース創出を目指す提案

- ・移動する空間だからこそ成立するサービス実証
- ・ユーザーの近くまで届けることで価値が高まる技術・サービス実証
- ・高齢者、地域交通、観光、教育、ヘルスケア、防災、エネルギー、エンターテインメント等の課題解決につながる実証
- ・e-Paletteの特徴を活かし、事業化・社会実装に向けた検証が可能な実証 など

4. e-Paletteの特徴と活用条件

4-1. e-Paletteの特徴

e-Paletteは、モビリティサービスへの活用可能性を持つバッテリーEVです。開放感のある車室空間、低床・大開口ドア、車高調整機能、スロープなどにより、人の移動やサービス提供の場としての活用可能性を持ちます。室内空間の使い方を工夫することで、移動だけでなく、ユーザー接点、体験提供、サービス提供、データ取得などの実証フィールドとして活用できます。

4-1. e-Paletteの仕様・制約(提案検討時の前提)

重要

下記の数値は、応募資料作成時に実証内容を具体化するための目安です。実際に本事業で使用する車両の装備、オプション、充電環境、運行ルート、停車場所、使用可能電源、同乗条件等は、採択候補段階または採択後のPoC設計段階で事務局および関係者と確認・調整します。

4-1-1. 車両主要スペック(提案検討時の目安)

区分	項目	数値・条件	提案時の確認ポイント
車両サイズ	全長／全幅／全高	4,950／2,080／2,650mm	走行・停車場所、搬入経路、屋内利用時の天井高・幅員を確認。
室内空間	室内長／室内幅／室内高	2,865／1,780／2,135mm	機材配置、利用者導線、スタッフ動線、体

			験スペースの成立性を確認。
乗降口	ドア開口幅／開口高	1,280／1,900mm	大型機材の搬入、車いす・ベビーカー等の乗降、待機列の設計を確認。
床面・乗降	フロア高	370mm(車高調整オプション使用時270mm)	バリアフリー性、乗降補助、機材搬入時の段差対応を確認。
定員	座席＋立席＋運転手	17人(4＋12＋1)	実証時の同乗人数は、運行条件、安全管理、実証内容により別途調整。
重量	車両重量	2,950kg	施設内展示、床荷重、駐車場所、搬入経路の制約を確認。
走行性能	最高車速／最小回転半径	80km/h／6.5m	走行ルート、転回場所、施設内・公道利用可否、停車位置を確認。
航続・電池	航続距離／主電池	約250km／リチウムイオン電池 72.82kWh	運行距離、待機時間、空調・機器利用、充電タイミングを考慮。
充電	急速充電	DC90kW・200A:約40分(満充電量の約80%充電)	急速充電設備の有無、充電場所、実証スケジュールへの影響を確認。
充電	普通充電	AC6kW・30A:約12時間	夜間充電・長時間待機を含む運用計画が必要。
駆動系	モーター	交流同期電動機／最高出力150kW／最大トルク266N・m	駆動系・主電池・車両制御に関わる改造を前提とした提案は避ける。
車内外設備	サイネージ、スピーカー、電動スロープ、車いす固定、車室内モニター等	装備はオプションを含むため、本事業での利用可否・仕様は採択後に要確認。	
給電	停車時給電	停車時の給電に対応。ただし利用可能出力・口数・接続方法は要確認。	外部機器・展示機材を使う場合は、必要電力、使用時間、接続方式を応募資料に記載。

4-1-2. 実証設計上の制約・応募時の確認ポイント

確認区分	本募集での考え方	提案時の確認ポイント
運行時間・ドライバー	ドライバーはJR東海バスに委託し、勤務時間は8時～17時40分を前提とします。準備・撤収、充電、待機、回送等を含め、実証全体のタイムラインをこの時間内で成立させる設計が必要です。	希望する運行時間、準備・撤収時間、乗車・体験時間、待機時間、回送・充電を含む1日のタイムライン。
充電・電源	昼間に1回(40分で80%程度)、STATION Aiでの急速充電を行うことを前提とした実証時間・待機時間・充電場所を考慮してください。	使用機器の消費電力、稼働時間、必要コンセント・接続方式、充電時間を踏まえた運用案。
運行可能距離	1日の運行可能距離は140km程度を想定します。走行距離、停車時間、空調・機器利用、充電タイミングにより実運用条件は変動するため、採択後に詳細確認します。	想定走行距離、区間ごとの移動距離、走行回数、停車時間、利用機器の稼働時間、充電・待機の考え方。
個別協議が必要な条件	土日祝日対応、名古屋市外での実証、JR東海バス指定の保管場所以外での日を跨ぐ保管・利用などは、仕様書に記載がないため個別協議を想定します。応募時点では希望条件として明記してください。	該当する希望条件、必要な理由、実施場所、日程、連続使用日数、車両保管・警備・充電・運行管理の想定。
車両改造・架装	固定物設置、配線、電源利用、重量物搭載、内装変更を伴う場合は、安全性・原状回復・運行条件の確認が必要です。	設置物のサイズ、重量、固定方法、必要電力、発熱、通信、乗降導線への影響。
駆動系・主電池	モーター、主電池、車両制御など、走行・駆動に関わる主要部材の変更は原則として想定しないでください。	車両側の改造を伴わずに検証できる範囲。必要な場合は理由と代替案。
乗車・乗降	本実証においては安全面を考慮し、立席3名＋座席7名を上限とします。その他、運転手、スタッフ、被験者、荷物・機材を含む実証時の乗車条件は安全面を踏まえ調整します。	想定乗員数、利用者属性、乗降方法、介助・案内の有無、車いす利用等の想定。
走行・停車	公道走行、施設内走行、停車利用、展示利用のいずれも、予めルート、時間帯、駐車場所、関係者間で調整し、確定させておくことが必要です。(定期運行ルートでの実証実験を基本とします(※)が、それ以	希望フィールド、走行／停車の有無、時間帯、乗降場所、必要な許認可・関係者。

自動運転	<p>外のルートでの検証とする場合、協議のうえ決定します。） 本募集では、自動運転を前提としない実証として検討してください。将来的な自動運転構想は記載可能ですが、今回のPoC範囲を切り分けてください。</p>	今回のPoCで検証する範囲と、将来構想として扱う範囲の区別。
法令・安全	<p>道路交通、施設利用、個人情報、撮影、音・表示、衛生、危険物、保険等は、提案内容に応じて確認・調整が必要です。</p>	<p>想定されるリスク、対応方針、取得データ、同意取得、保険・安全管理の考え方。</p>

※現在の定期運行ルート



©OpenStreetMap contributors

○発着場所

名古屋駅広小路口

↓

STATION Ai東側駐車場

5. 応募資格・条件

項目	条件
応募対象	STATION Ai会員企業(スタートアップ・事業会社)
非会員企業の応募	応募可能です。ただし、契約締結までにSTATION Aiへの入会を前提とし、応募締切(2026年7月6日)までに会員申込を完了してください。
体制	採択後、実証実験の計画策定、推進、定例メンタリング、成果報告に対応できる責任者・実務担当者を置いてください。
提出資料	PPT形式の応募資料提出を必須とします。
確認事項	非会員企業については、会社情報、事業内容、反社会的勢力に該当しないこと等を確認する場合があります。
その他	応募内容が法令、公序良俗、安全確保、事業趣旨に反する場合は、審査対象外となる場合があります。

6. 支援内容

支援項目	内容
実証費用支援	上限400万円/社(税抜)の範囲で実証を支援します。対象経費・支払条件は、採択後の契約締結時に明確化します。(※)
事業実施計画書の策定	実証目的、仮説、KPI、スケジュール、体制、費用、成果物を整理します。
伴走メンタリング	月1回以上のメンタリングを行い、プロジェクト進捗管理、KPI、予算管理、課題整理、実証内容のブラッシュアップを支援します。
PoC推進支援	実証内容、運行条件、必要な調整事項、成果物作成等について、STATION Aiが伴走します。
成果発信	成果報告会等を通じ、実証の背景・内容・結果を発信する機会を設けます。

※以下は実証費用として認められませんのでご注意ください。

- ・特定の個人や個別企業に対する給付経費及びそれに類するもの
例)参加者(モニター)に対する旅費、宿泊費、体験費、交流費、飲食費、販促品提供費
- ・備品購入自体を主たる目的とするものであり、実証実験との関連がない経費 等

7. 応募資料の作成方法

提出形式

PPT形式で提出してください。必要に応じてPDF版を併せて提出しても構いません。

応募フォームURL:

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScU5zNKuJkpr6kp4-afnanzJ3z7x_HLUA8gkc1safDZp06XLg/viewform?usp=sharing&oid=114556276887925525582

7-1. 応募資料に必ず含める項目

No.	項目	記載内容
1	会社概要	企業名、代表者名、業種・業態、主事業内容。
2	実証テーマ	実証全体のテーマ設定。
3	背景・目的	解決したい社会課題・顧客課題・業界課題、実証で明らかにしたいこと、実証後に目指す事業化・社会実装の姿。
4	活用する自社アセット	技術、プロダクト、データ、顧客基盤、運用ノウハウ、提携先など。
5	実施概要	実施内容、対象ユーザー、実施場所、運行・停車の考え方、必要な機材・設備。
6	結果仮説	どのような結果が得られると想定しているか。成功・不成功の判断基準。
7	実証後の展望	実証が成功した場合の次のステップ。
8	推進体制	責任者、実務担当、協力先、意思決定者、採択後に動ける体制。
9	実施にあたっての希望・要件	希望する実証フィールド、その他要件、事務局に確認したい制約条件。
10	実証スケジュール	採択後～成果報告までの大まかな実施スケジュール。
11	必要費用概算	上限400万円／社(税抜)の範囲を前提に、費目別の概算を記載。

8. 審査方法・審査観点

8-1. 審査プロセス

段階	内容	時期
一次審査(書類審査)	応募資料をもとに、事業趣旨との適合性、提案内容、体制、実現可能性、スケジュール等を確認します。	2026年7月7日～7月14日
二次審査(ピッチ審査)	一次審査通過企業によるピッチを実施します。ピッチ時間は7分を予定しています。	2026年7月21日
採択企業決定	二次審査後、関係者による確認を経て採択企業を決定します。	2026年7月29日 予定

8-2. 審査観点(参考)

審査観点	評価されるポイント
技術的成立性	提案内容が技術的に実現可能か。必要な技術・設備・検証方法が整理されているか。
ユーザー受容性・社会実装性	ユーザー課題に合っているか。実証後に利用者・地域・事業者を受け入れられる可能性があるか。
運用実現性	期間、体制、フィールド、運行、安全面、関係者調整を踏まえ、実証を実施できるか。
事業成立可能性	PoC後の顧客、収益モデル、提携・展開可能性が見えるか。

※ 審査結果および審査内容に関する個別の問い合わせには、原則として回答いたしかねます。

9. 全体スケジュール

時期	フェーズ	応募企業・採択企業の対応
2026年6月15日～7月6日	募集期間	応募フォームより資料を提出。必要に応じて応募資料内に確認事項を記載。
2026年7月7日～7月14日	一次審査	書類審査。通過企業へ結果通知およびピッチ準備依頼。
2026年7月21日	二次審査(ピッチ)	7分ピッチを実施。
2026年7月29日 予定	採択企業決定	採択3社を決定。
2026年7月30日～8月14日 予定	PoC内容検討	契約締結、対象経費・支払条件確認、事業実施計画書策定。
2026年8月中旬～12月下旬 予定	PoC実施	実証実験の推進、月1回以上のメンタリング、WBS・KPI・予算管理。

2027年1月～2月予定	成果まとめ・成果報告	実証結果の整理、成果報告資料の作成、成果報告会等での発信。
--------------	------------	-------------------------------

10. 採択後の進め方

1. 採択通知後、STATION Aiと採択企業で実証内容・体制・費用・成果物の確認を行います。
2. 実証実験委託契約を締結します。対象経費・支払条件・成果物等は契約時に明確化します。
3. 事業実施計画書を策定し、仮説、KPI、WBS、スケジュール、役割分担を具体化します。
4. 月1回以上のメンタリングを通じ、進捗、課題、KPI、予算管理、成果物を確認します。
5. 実証終了後、定量・定性データを整理し、成果報告会等で発信します。

採択後に求められる姿勢

本事業は「支援を受ける」だけでなく、採択企業が主体となって仮説検証をやり切るプログラムです。計画策定、関係者調整、現場運用、成果整理まで、事務局と連携しながら主体的に進めてください。

11. 注意事項

- ・応募内容に虚偽がある場合、採択を取り消すことがあります。
- ・応募資料に機密情報を含める場合は、応募企業の責任で開示範囲を判断してください。審査・事業運営に必要な範囲で、関係者に共有される場合があります。
- ・採択後であっても、安全性、法令、運行条件、車両条件、関係者調整等の理由により、実証内容の変更をお願いする場合があります。
- ・本事業の内容、スケジュール、審査体制、実施条件は、関係者協議により変更となる場合があります。
- ・採択企業には、成果報告会や広報発信への協力をお願いする場合があります。
- ・本事業は国の地域未来交付金を利用するものであり、終了後5年間は、実証費用に係る会計帳簿及び証拠書類の保存が必要となります。

12. FAQ

Q1. STATION Aiに入会していない企業も応募できますか。

応募可能です。ただし、契約締結までに入居することを前提とし、応募締切までに入居申込を完了してください。

Q2. まだ実証フィールドが確定していません。応募できますか。

応募可能です。希望フィールド、必要条件、想定ユーザー、確認したい事項を応募資料に記載してください。採択候補・採択後に事務局と調整します。

Q3. e-Paletteの詳細仕様が分からないため、提案内容を確定できません。

応募時点では、提案実現に必要な仕様条件を「確認事項」として明記してください。車両寸法、電源、固定、運行、停車等の詳細は、事務局および関係者と確認します。

Q4. 自動運転を前提とした提案は可能ですか。

本募集では、自動運転を前提としない実証として検討してください。自動運転を将来的な構想に含める場合も、今回のPoCで何を検証するかを明確にしてください。

Q5. 車両への装置設置や架装を伴う提案は可能ですか。

内容により確認が必要です。固定方法、重量、電源、発熱、通信、乗降導線、安全面など、必要条件を応募資料に記載してください。

Q6. 400万円を超える実証は提案できますか。

応募時点では、上限400万円／社（税抜）の範囲を前提に必要な費用概算を作成してください。超過が見込まれる場合は、自己負担・外部負担の考え方も併記してください。

Q7. 採択後に実証内容を変更できますか。

実証目的を大きく変えない範囲で、車両条件・安全面・運行条件・費用条件に応じて調整する場合があります。

Q8. 成果報告は必須ですか。

必須です。採択企業には、成果報告会等で実証の背景、実施内容、結果、今後の展開を発信いただきます。

Q9. 複数案を提出できますか。

複数提案を希望する場合は、提案ごとに資料を分け、各提案の実施体制・費用・e-Palette活用必然性を明確にしてください。

Q10. 事前相談はできますか。

原則として、募集要項・応募フォームに記載の内容をご確認のうえ応募してください。判断に迷う重要条件がある場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

13. 応募方法・問い合わせ

項目	内容
応募フォーム	https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScU5zNKuJkpr6kp4-afnnzJ3z7x_HLUA8gkc1saufDZp06XLg/viewform?usp=sharing&oid=114556276887925525582
提出資料	PPT形式の応募資料
問い合わせ先	STATION Ai株式会社 X Innovation事業部 OI推進課
メールアドレス	ext-oi-development@stationai.co.jp

最後に

本事業は、e-Paletteという実証フィールドを活用し、自社の技術・サービスを社会実装に近づける機会です。実現したい未来、検証したい仮説、やり切る体制を、ぜひ応募資料で具体的にお示しください。

別紙：応募資料セルフチェックシート

応募前に、以下を確認してください。チェックが少ない場合は、応募資料を補強することで審査員に意図が伝わりやすくなります。

- 提案タイトルが、一目で内容を理解できる。
- 対象ユーザーと課題が明確である。
- 実証で検証する仮説とKPIが明確である。
- 実証内容が期間内に実施可能な粒度になっている。
- 必要な機材、電源、通信、設置、運行、停車、利用者導線を記載している。
- 安全面・法令面・個人情報面で確認が必要な事項を洗い出している。
- 推進体制、担当者、協力先が分かる。
- 上限400万円／社(税抜)を意識した費用概算になっている。
- PoC後の事業化・社会実装の見込みが書かれている。
- 自社アセットや過去実績が、提案の実現性を補強している。
- 審査観点に対応する情報が資料内に含まれている。